

二〇二六年 秋号

海禅寺新聞

Vol.51



人は、
人生が公平ではないことを
悟れるくらいに成長しなくては
ならない。
そしてただ、
自分の置かれた状況のなかで、
最善をつくすべきだ。

この言葉は、イギリスの理論物理学者であるスティーブン・ホーキング博士の有名な名言です。この言葉で示唆しているのは次のような点でしょう。

○現実を受け入れる 人生は公平ではないという事実を知り、不満を言わずに受け入れる大人の成熟さが必要だという意味。

○最善を尽くす 不公平な条件を嘆くのではなく、自分が置かれた今の場所のできる限りの努力をするべきだという行動の指針。

ホーキング博士がこのような言葉を紡

ぎ出した背景には、次のような現実がありました。博士は若い頃に重い難病（筋萎縮性側索硬化症）を発症しました。そして体が動かなくなり、話すこともできなくなる過酷な運命に直面しました。それでも絶望せず、できることに集中した結果、宇宙物理学の研究を続け、大きな成果を成し遂げました。この言葉には、自分の運命を受け入れた人だけが持つ、強い意志が込められているように感じられます。

檀信徒の皆さまの中にも、病気や人生の課題など、困難に直面されている方がおられるのではないかと思います。今回は、そうした状況に何かのヒントになればと博士のこの言葉をご紹介します。



私も認定こども園芙蓉園の膨大な諸業務と合わせ、海禅寺でのお役目を頂戴していることで、時としてあまりの「しなげればならないこと」の多さに、心の余裕を失い、これを苦しみとして受け取ってしまうことがあります。実はそうした折に出会い、光を見たような思いがしたのがこの言葉でした。

どう生きてても、人生は日々刻々過ぎ去っていきます。ともあれ一つ一つ、共になすべきことをなしていきましょう。 合掌

『生きる力 vol. 126』送付

おなじみ真言宗智山派で発行しております冊子「生きる力 vol. 126」をお届けします。ぜひ一読ください。

今回は光明真言について書かれた記事が2つあった事が印象的でした。皆さまも気になる記事からどうぞお読みください。

秋彼岸会 中日法要のご案内

恒例の秋彼岸会法要を海禅寺本堂にてお勤めいたします。檀信徒皆様のご先祖の冥福を祈り、ご一緒の手を合わせましょう。およそ40分ほどの集まりです。どうぞお気軽にお出かけください。（申込不要）

日 程…令和8年9月23日（水・祝日）
時 間…受付 午前10時～
法 要 午前10時30分～

※お彼岸中日の午前中は、本堂前でお焼香していただけるよう準備をしています。

※法要終了後にお時間の許す方は、会議室でご歓談していただけますよう粗菓粗茶もご準備いたします。

※彼岸会法要の供養塔婆をご希望の方は、21日（月）夕刻までに電話またはファックスで、寺にお申し込みください。

◎供養塔婆料 一基 3000円

※境内墓地をお持ちの方は、お寺においてならなくとも供養塔婆を墓前に手向けさせていただきます。ご希望の方は、供養塔婆料を添えてお申し出下さい。

電話：0268-22-2972
Fax：0268-26-1147



○長らく気になっていた本堂襖の張替えを業者さんにしていただきました。汚れや黄ばみが著しく、少々酷い状態でしたが、お陰様で真っ白で美しい襖が納められております。

朝活企画

秋の朝活 テラ掃除

「秋の朝、皆さんで菩提寺である海禅寺のお掃除にご協力いただけませんか？」と呼びかけさせていただき、昨年初めて開催したこの試み。以前に海禅寺新聞でもご報告させていただいた通り、大勢の方々がご参加くださり、お陰様で年末を前に大変に境内が綺麗になりました。

今年も落ち葉の季節のさなかに開催させていただきます。境内地には墓地の樺の巨木をはじめ、たくさんの木々が豊かに息づいています。綺麗な紅葉を見せてくれた後、毎年寺では大量の落ち葉掃除に追われています。この仕事を、朝の新鮮な空気を味わいながら、ぜひ有志の皆さんと一緒したいと、ボランティアを募集いたします。「できる時に、できる人が、できる事を、できるだけ愉快にする。」どうぞよろしくお願い致します。

※人手が多く集まりましたら、窓ふき作業なども検討しております。

日 程…令和8年11月14日（土）
時 間…集合 午前7時50分
開 始 午前8時～

↓約1時間半ほどの作業の後、お茶会をしたいと思います。
落ち葉焚きをして焼き芋を準備予定です。

持ち物…竹ぼうき、熊手、枯れ葉を入れるカゴなどお持ちの方はご持参ください。勿論手ぶらでも結構です。

参加申込…お茶会準備の都合上、お電話等で寺にご一報いただけますと有り難いです。しかし急な飛び入り参加も大歓迎です！



第42回 人形供養会



毎年11月の勤労感謝の日に行っている人形供養会を今年も勤修いたします。今年も集まったお人形さんをすべてお飾りした上で、修験道の秘法・柴燈護摩供によって懇ろに供養をお勤めします。合わせて檀信徒の皆さまの、家内安全と心願成就も御祈念いたします。

お陰様で今年は42年目となります。供養するお人形がなくともご参拝いただけます。どうぞ皆様のお越しをお待ちしております。

日程… 令和8年11月23日（月・祝日）

時間… 「受付」 午前9時半～

「雅楽奉納演奏」 午前10時40分～

「人形供養法要」 午前11時～

〔供養人形の受付について〕

ご供養の申込みに際しまして、ご供養料をご志納ください。金額に決めはありませんが、お人形一体千円を目安とさせていただいております。またお人形をお持ちの際は、ガラスケースなどから取り出して、お人形さんのみをご持参ください。

尚、ぬいぐるみは、受け付けておりません。ただし特別なご事情が、おありの方は、ご相談ください。



供養の法煙と共に お人形の御魂は空へ還っていきます

副住職の気まぐれ法話

9・11から25年



2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ事件から、今年で25年という大きな節目を迎えました。四半世紀が経過した今でもなお、世界各地では紛争や対立が絶えず、私たちは「いつたいどうしたら世界は平和になるのだろうか」という根本的な問いに突き動かされ続けています。



写真：THE WALL STREET JOURNAL より

政治や経済の仕組みだけで平和を築くことには限界があります。この果てしない問いを紐解く鍵は、今の時代を生きる人類一人一人の「心の問題」と深く結びつけて考えることにあるのではないのでしょうか。それは、怒りや偏見、他者への無関心といった個人の心の中にある小さな葛藤や拒絶が、巡り巡って社会の分断や国同士の対立へと拡大していくのではないかと考えるからです。

世界平和を実現するために、私たち大人が果たすべき責任は重大です。一市民であっても、社会の動向に関心を持ち、相反する意見者とも対話を諦めずに前向きな意識を広げていく姿勢があれば、社会の仕組みに対して、なにがしかのよき影響を届ける事ができるからです。

しかしそれ以上に大切な役割があります。それは、これからの時代を生きる子どもたちに何ができるかを考え、その基盤を整えることです。

次の時代を作っていく子どもたちの心に他者を思いやり、多様性を認める「平和観」を育むこと。これこそが、実は遠回りに見えて最も確実な世界平和実現への道なのではないかと考えることが増えてきました。子どもたちが互いの違いを尊重し、対話によって問題を解決する心を育むことができれば、未来の社会はその精神と行動によって形作られていきます。

実は今年の9月11日、お隣の認定こども園芙蓉園ではちょうどお誕生会がありました。私は毎月お誕生会の際に、子どもたちの前で話をするのですが、今回はこの話題を選びました。

子どもたちの反応を見ながら言葉を選び「平和をつくりだせる人になりましょう」と語りかけました。こうして考えてみると、平和はまさに教育の責任であるとも言えるかもしれません。知識を教えるだけでなく、平和を願う心とそれを実践する強さを子どもたちの胸に育んでいくこそ、教育が果たすべき最大の使命ではないかと今回改めて強く感じました。

今現在、横暴で他国を攻撃する国々がある中では、国防力を更に強固することも重要なことでしょう。しかしそうした力と力の問題だけに意識を向けるのではなく、その一方でこれまでの様々な悲惨な出来事を風化させず、過去の悲劇を未来への教訓としながら、たとえ小さなことであってもできることを考え続け、一つでも行動に移していくことは、今を生きる大人の責任です。

海禅寺を通じて仏教の考え方を発信しながら、お隣の認定こども園芙蓉園で子どもたちへの教育を通して、真の平和への歩みを進めていくこと。世界のすべての人が穏やかに暮らせる未来を願い、強く祈らずにはいられません。



編集後記

暑さの夏も幕を閉じ、ようやく秋らしい気候になってきました。日が沈むと秋の虫たちが涼しげな声で鳴いています。

最近、国内外で多くの自然災害の報告があります。被害の渦中におられる皆さんが一日でも早く安寧な生活を取り戻すことができま

すようお願いいたします。

今回は世界平和について考えてみましたが、これは何人も人災ともいえる戦争ばかりでなく、自然災害にも関係することでもありますね。今を生きる地球人の私たち。大きな地球の上に、たまたま命をいただいて今がある私の存在に感謝をしながら、生きる中での責任について、考えることが大切なものかもしれません。秋の虫の声も、何かを語りかけてくれているようです。 合掌